

令和 8 年 3 月 1 8 日
京都府山城北農業改良普及センター
京都府山城南農業改良普及センター

竹の「枯れ」と、話題になっている「ノメイガ」の被害について

竹が枯れる原因は複数あります。

- ・生理的な原因…開花による一斉枯死、極端な乾燥・猛暑
- ・病害虫 …病害（テング巢病）、害虫被害（ダニ類、ノメイガ類など）

離れたところから見て、これらを区別することは難しいです。また、それぞれの発生面積、割合など状況は良く分かっていないのが現状です。

6月～7月中旬頃、「先止め」する高さより低い位置の葉が一斉に枯れる場合、ノメイガ類が原因の可能性があります。

この時期に竹やぶをよく見回りしてください。疑わしい場合は普及センターか J A に連絡してください。

ノメイガ類の発生と被害について詳しいことは、まだ分かっていません。

<発生状況>

- ・令和 6～7 年に京都府で発生を確認しましたが、外来種を含むため研究・調査事例が少なく、その生態や発生状況、被害の実態について詳しいことは分かっていません。京都府では、農林センターや病害虫防除所で調査や情報の蓄積に努めているところです。
- ・山城地域の一部ほ場では、ノメイガ類の発生・被害は確認されていますが、それらの見られない地域もあります。
- ・京都府で発生の確認されたノメイガ類は、シナチクノメイガ、キモンホソバノメイガ、セスジノメイガで、それぞれの発生・被害の状況は異なるようです。

<裏面へ>

<防除方法>

- ・タケノコに使える登録農薬は無いため、緊急対応として京都府では「エスマルク DF」を使用できるようになっています。
- ・農薬散布には、鉄砲ノズルや動力噴霧器、タンク、防護具（カップ、マスク、ゴーグル、防水手袋）などが必要になります。
- ・効果的な防除時期、防除効果については、試験事例が少なく、詳しいことはまだ分かっていません。

「ノメイガ類の生態、防除方法」について、現状で分かっていることやもう少し詳しいことは、こちらのホームページに掲載しています。

URL

: <https://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/n-fukyu/documents/takenomeigaseitai.pdf>

